

総括質疑並びに一般質問（個人質問）

【質問日】平成26年6月20日（金）

質問 順位	質 問 者	質 問 事 項
1	川添 公貴	<p>1 第2次薩摩川内市総合計画基本構想について</p> <p>(1) 第1次薩摩川内市総合計画を踏襲し、変更した点は。また、検証した点は</p> <p>(2) 将来都市像について</p> <p>(3) パブリックコメントの時期は</p> <p>(4) 今後の10年について、最重要部分として捉える内容は</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 将来像をどのように描き込むのか。 <p>2 (仮称) 甌アイランド構想について</p> <p>(1) 将来ビジョンの構築について</p> <p>(2) 島を一体とした考え（医療・福祉・観光・行政サービス等）は</p> <p>(3) 構想に対しての協議会（振興局等）の設立を</p> <p>3 廃（閉）校跡地の利活用について</p> <p>(1) 廃校跡地の利活用の現状は</p> <p>(2) 文部科学省の～未来につなごう～「みんなの廃校」プロジェクトの活用について</p> <p>(3) 東郷地域の今後の閉校予定について、利活用に関する協議会設立を</p> <p>(4) 現廃校跡地の活用策（譲渡・貸付け）は、どのようになっているか。</p> <p>(5) 学校に付帯する教職員住宅の活用状況・今後の計画について</p>
2	成川 幸太郎	<p>1 川内甌島航路について</p> <p>(1) 運航開始後の乗船客数について</p> <p>(2) 乗船客数の増減について、シーホークと比較してどうか。</p> <p>(3) 利用者からの要望等について</p> <p>(4) 電気バスの利用状況について</p> <p>(5) 川内港ターミナルの活性化について</p> <p>2 川内駅東口市有地利活用事業のプロポーザル審査結果について</p> <p>(1) 実現性が厳しい公共施設とは</p> <p>(2) 資金調達計画における公的負担とは</p> <p>(3) 審査の過程で、指導による修正はできなかったのか。</p> <p>(4) 今後の予定は</p> <p>3 株式会社薩摩川内市観光物産協会の決算及び予算について</p> <p>(1) 物産販売事業における売上げ4,000万円の内訳は何か。</p> <p>(2) 物産販売事業における4,000万円の売上総利益は</p> <p>(3) 総売上げの売上原価率が予定より下がったのはなぜか。</p> <p>(4) 予算における販売費及び一般管理費を全体として引き下げている中で、平成26年度の人件費はなぜ増えるのか。</p>
3	森満 晃	<p>1 甌島の観光整備事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 公衆トイレについて <p>ア 甌島全体における観光地周辺の公衆トイレの役割について、どのように考えているか。</p> <p>イ 今後、それぞれの観光地周辺の状況に応じたトイレの設置、改修を考えているか。</p> <p>ウ 長浜漁協周辺に観光客用の公衆トイレの設置が可能か。</p>

		<p>2 川内原子力発電所周辺の道路整備について</p> <p>(1) 県道43号線（県道川内串木野線）の道路整備について</p> <p>ア 市長として、この道路の重要性及び今後の整備についてどう考えるか。</p> <p>イ 地震、津波など防災の観点から、県道京泊大小路線のように少し山側へ道路を新設する考えはないか。</p> <p>(2) 川内港周辺の道路整備について</p> <p>ア 川内臨海部（国道3号湯田－唐浜－川内港－川内原子力発電所）の県道新設の目的・効果について</p> <p>イ 高速船乗り場やアクセス道路の案内表示が分かりにくいという市民の意見があるがどうか。</p> <p>ウ 川内港のシンボルとしてのアーチ橋の設置について</p> <p>3 川内原子力発電所・再稼働に関する各報道機関の取材の在り方について</p> <p>・取材に慣れていない住民はどのように対処し、フォローすればよいか。</p>
4	谷津 由尚	<p>1 第3次定員適正化方針に対する今後の対応について問う。</p> <p>(1) 民間事業者等で実施可能とされる事務事業を民間事業者等へ委託する場合、業務改善等による事務事業の効率化ができてからでないと、丸投げでの委託となりかねない。その場合、最終的には、同じ事務事業の際、職員人件費より委託料の方が高くなってしまいう逆転現象が危惧される。</p> <p>(2) 業務の委託費は、縦割り組織の中での予算執行管理のため、行政全体の数字がどうなのかが把握しづらい。</p> <p>(3) 市職員の中に技術者としてのノウハウを蓄積できる体制が維持できているか。（特に上下水道や建設土木等）</p> <p>(4) 採用者数を極端に絞ってきた結果、このままでは平成32年には18歳～32歳の年齢層の職員が、それぞれの年代で2～7名程度となり、再任用制度等でのカバーを図っても25年後の組織形成に障害が出ることは明確であり、それについて今後の対策を問う。</p> <p>2 原子力防災における広域避難計画について</p> <p>(1) 人がたくさん集まる施設や企業等では、原発事故による避難指示の際は一旦帰宅後、各人の指定された自治会ごとの避難先へ避難行動する現在の方法には問題が多い。</p> <p>(2) 人の集まる施設や企業等については、その施設が避難対象者を誘導する形が望ましいのか。それとも各人が指定された避難先への避難行動が望ましいのか。どちらを優先した考えとなっているのか。また施設側が誘導する場合、対象者の人数にかかわらずその避難計画は市の避難計画に採用されるのか否か。</p> <p>(3) 現在の道路網では、有事の際の渋滞等のファクターは解決されておらず、実効性に欠ける。さらに現在の避難先は風向きに対する柔軟性がなく、リスクが高い。これらを解決すべく、北、東、南の3方向への避難用主要道路の建設計画を作成し、国の支援で建設要求をしてはどうか。日本で最初の再稼働であればこそ、薩摩川内市としての責務と捉える。 （東方向は、川薩グリーンロードがあるので、これの再整備を含めて）</p> <p>(4) 災害等の際、状況把握に関する共通言語化について</p>
5	江口 是彦	<p>1 甌島の振興・活性化の施策について</p> <p>(1) 高速船甌島の就航による効果及び課題について</p> <p>(2) 高速船甌島の恒常的な遅延による上甌の甌ふれあいバス運行ダイヤ等への影響調査及び改善策について</p>

		<p>(3) (仮称) 甌島ツーリズムビジョン策定等業務の目的及び内容並びに現時点での進捗状況について</p> <p>(4) 甌島における観光客の受入れ基盤（公衆トイレ、観光案内看板、民宿等）の整備について</p> <p>(5) 藺牟田瀬戸架橋開通後を見通した幹線道路の点検及び整備計画について</p> <p>(6) 甌島沿岸に設置されている魚礁の調査及び今後の設置計画について</p> <p>(7) 甌島での磯釣りにおける市販集魚剤の使用禁止等の取組はできないか。</p> <p>(8) 甌島のエコアイランド化について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 九州大学のグループが研究開発したという浮体方式による洋上風力発電が報道された。洋上風力発電等の可能性は甌島ではどうなのか。 <p>(9) 川内原発の重大事故を想定し、原発から30キロメートル圏の住民避難計画が公表されている。この計画では、里町などの一部の住民しか対象にされていない。甌島島民の避難先や避難方法について、市の責任で具体的に作成し示してほしい。</p> <p>(10) 甌島に複数の高等学校による全寮制の共同分校や甌島の環境を生かした個性ある高等専門学校等の誘致はできないか。また、私立高校などの長期滞在型の研修・学習施設等についても考えられないか。</p> <p>2 電子自治体推進のための取組について</p> <p>(1) 平成25年5月に行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律が公布された。地方公共団体に対しては、これに適切に対応した情報システムの整備や活用が求められている。本市における取組について伺う。</p> <p>(2) 市民向け情報サービスの充実について、公共施設予約システムの導入などが考えられる。本市では、合併前から旧川内市で導入実施されていたと聞きますが、現状について伺う。また、どのような公共施設が予約システムとして今後実施可能となるのか。</p> <p>3 生活困窮者自立支援法の平成27年4月施行に向けて</p> <p>(1) 生活困窮者自立支援法では、福祉事務所のある自治体に、新たに総合的な相談窓口を設置し、生活相談や就労支援など、困窮者を包括的に支援する第2のセーフティネットを作ることが目標とされている。本市においても、推進体制や指針づくりが急がれると思われるが、基本的な考え、方針について伺う。</p> <p>(2) 豊中市等で取り組まれているパーソナルサポート事業（様々な困難を抱えている方に個別的、継続的、制度横断的に寄り添う伴走型の生活再建支援サービス）導入の考えはないか。</p>
--	--	--